

第1部

# 「フランス6人組の音楽」

第19回

神武夏子ピアノリサイタル

かむながらにIV

ダリウス・ミヨー

アルチュール・オネゲル

ジョルジュ・オーリック

フランシス・プーランク

ジェルメンヌ・タイユフェール

ルイ・デュレ

第2部

# 「古事記」

大国主神の国譲り 天孫降臨



2013年9月7日(土)

めぐろパーシモンホール小ホール

開場 18:00 開演 18:30

チケット：一般2000円

学生1000円 (全席自由)

主催：ミモザ

後援：Association des amis de Francis Poulenc (フランス プーランク協会)

YAMAHA 銀座店

問い合わせ/チケット申し込み

E-mail/piano1920natsu@yahoo.co.jp Fax/03-3428-5794 Twitter/@kotakenatsuko

illustration : Kazunori Matsushiro

# コンサートによせて

神武夏子

「フランス6人組」というグループは、そのなりたちが、大変におもしろい。もともと6人は、グループを作ろうとは誰も考えていなかったのである。

1911年頃より若い6人は、コンセルヴァトワールの作曲や対位法のクラスで出会い、またサティ、コクトー、リカルド・ヴィニエス、サロン提供者のヴァランティンヌ・グロスなど、様々な芸術家を通し知り合っていく。

後に有名になる1912年頃から始まる毎週土曜日のミヨーの家の集会には、6人をはじめ多くの音楽家、画家、詩人が集まり、語り合い、作品を披露しあっていたが、これを知った評論家アンリ・コレが、たまたまこの6人を選び、勝手に「フランス6人組」と命名し、「コメディア」に発表したのが「フランス6人組」の成り立ちである。

ダダイスム、シュールレアリスムなど多くの芸術運動が盛んだった1920年代という時代に、6人組は深く関わっていくのだが、自由で陽気なミヨーの家での集まりは、何より生涯変わらない彼らの友情を育てたのである。

さて、第2部の古事記だが、前回は、八俣の大蛇、稲羽の素戔と有名なお話が出てきたが、今回は大国主神の国譲り、天孫降臨へと進む。須佐之男命の六世孫である大国主神は、多くの困難に出会うが、まわりに助けられながら試練を乗り越え、ついには国作りをまかせられるまでに成長する。大国主神は、決して強大な力を持っていたわけではないが、常に人を動かす、人望と魅力にあふれた神であったと想像できる。

また、最初に古事記を読んだ時、たくさんの歌が出てくるのに、私は驚かされた。須佐之男命が歌った「八雲立つ…」は、日本最初の和歌である。須佐之男命らしく、雄大な歌であるが、それまでの荒ぶる心を落ち着かせ、立ち上る雲に新たな自分を見ているように感じられる。そして、恋多き大国主神がヌナカワヒメと交わした恋の歌、妻、スセリビメと交わした歌は、情緒豊かに歌われる。はやる恋心といたわり合う夫婦愛。どちらも心にしみわたる。古事記において、歌を通して物語や恋愛が語られていく個所が多く、歌われることによって、より心のこもった想いを伝えているように思われる。

今回は、いよいよ大国主神は国を譲り、舞台は出雲から天孫降臨の地、高千穂へと移っていく。地上を治める大役を命じられたのは、邇邇芸命であった。



# プログラム

## 第1部

・フランシス・プーランク *Fransis POULENC*

### 15の即興曲 *Quinze improvisations*

- 第1番 口短調 *I<sup>er</sup> en Si mineur*
- 第2番 変イ長調 *II<sup>em</sup> en Lab Majeur*
- 第7番 ハ長調 *VII<sup>em</sup> en Ut Majeur*
- 第12番 変ホ長調 (シューベルトをたたえて)  
*XII<sup>em</sup> en Mib Majeur (hommage à Schubert)*
- 第13番 イ短調 *XIII<sup>em</sup> en La mineur*
- 第15番 ハ短調 (エディット・ピアフをたたえて)  
*XV<sup>em</sup> en Ut mineur (Hommage à Édith Piaf)*

・ダリウス・ミヨー *Darius MILHAUD*

### ブラジルの郷愁 *Saudade do Brazil*

- ソロカーバ *Sorocabo*
- レーメ *Leme*
- イパネマ *Ipanema*
- コルコヴァード *Corcovado*

・アルチュール・オネゲル *Arthur HONEGGER*

### アルベール・ルーセルを讃えて

*Hommage à Albert ROUSSEL*

(変更あり)

## 第2部

### 古事記

- 海から来る神 高天原の使たち
- 大国主神の国譲り
- 朝日のただ射す国 [天孫降臨]

朗読・作曲・ピアノ演奏 神武夏子

サウンドクリエイター・作曲・フルート演奏 齊藤 歩

スーパーバイザー ユニット「倭音」

こうたけなつこ  
神武夏子 ピアニスト

武蔵野音楽大学音楽学部ピアノ科卒業。フランス留学後、サティとフランス6人組の音楽に出会い、1999年、プーランク生誕100周年記念コンサートを主催。以後、リサイタルを中心に、サロン・コンサート、NHK-FM「名曲リサイタル」出演など、さまざまなかたちでサティとフランス6人組の音楽を紹介するほか、詩人の藤富保男氏と、ピアノと詩の朗読による「詩を奏でる」を各地で公演。2002年、CD「café des six」、2006年、CD「café Poulenc」を発表。  
<http://www.kotakenatsuko.net/>

齊藤歩 フルーティスト  
サウンドクリエイター

国立音楽大学付属高等学校を経て、国立音楽大学フルート専攻を首席で卒業。国立音楽大学卒業演奏会、読売新人演奏会に出演。第5回日本アンサンブルコンクール室内楽部門、優秀演奏者賞受賞。2000年、2005年、2009年にモーツァルト青少年管弦楽団首席奏者としてオーストリア公演に参加。日本モーツァルト青少年管弦楽団、モーツァルト・カンマー・オーケストラ首席フルート奏者。現在はExtasyBoxのフルート奏者として活躍。またDTMによる楽曲製作など幅広く活動中。

## めぐろパーシモンホール小ホール

〒152-0023 東京都目黒区八雲1-1-1

TEL:03-5701-2924 FAX:03-5701-2968

駐車場は駐車台数に限りがございますので、ご来場の際は公共交通機関をご利用下さい。

電車:東急東横線都立大学駅より徒歩7分

東急バス:(渋34) 渋谷駅~東京医療センター「めぐろ区民キャンパス」下車すぐ

